

教員公募要項

山形大学農学部

件 名	山形大学 学術研究院（農学部食料生命環境学科主担当）(助教) 募集
機 関 名	国立大学法人 山形大学
機 関 URL	https://www.yamagata-u.ac.jp/
部 署 名	農学部
部 署 URL	https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/
公 募 の URL	https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/koubo.html
募 集 職 種	助教
勤 務 形 態	常勤
募 集 人 数	1人
募 集 分 野	AI関連分野
所 属 先	学術研究院(農学部食料生命環境学科アグリサイエンスコース※主担当) ※アグリサイエンスコースについて 安全な農産物を持続的かつ安定的に生産するための理論や技術について、さらに、限られた資源(物的資源、人的資源)を有効に活用するためのマネジメントについて学びます。 (https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/course_agri_science.html)
業 務	業務内容 大学における教育、研究、大学運営に関連すること
	担当授業 AI・データサイエンス要論(応用)(分担)、情報処理演習(分担)、基盤共通教育科目(分担)、特論・専門演習(大学院) など
	研究分野 [大分野] 農学 [小分野] 農業工学、生産環境農学、社会経済農学
勤 務 地	山形大学農学部 〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23
応 募 資 格	(1)山形大学農学部教員選考基準の第5条を満たしている者(https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/pdf/kyouin-senkoukijun.pdf) (2)農学の素養を有し、人工知能(AI)・情報科学・スマート農業・データサイエンスに関する研究を推進・展開でき、農学部に所属する学生の教育・研究指導を行い、地域の生産者や企業等と連携した研究やプロジェクトに取り組むことができ、また、山形大学(全学)の学生に対するAIの利活用、IoTリテラシーの向上に必要な基礎的教育に取り組むことができる者 (3)本人の研究分野において、英語で授業を担当することが可能である者 (4)本学データサイエンス教育研究推進本部※にて、本学のデータサイエンス教育及びAIデザイン教育にも貢献できる者 ※データサイエンス教育研究推進本部について 本学におけるデータサイエンスやAIの技法を活用することにより地域の諸問題の解決に貢献しうる人材を育成することを目的とした組織で、データサイエンス教育研究推進センター、AIデザイン教育研究推進センターから構成されています。
待 遇	(1)本学の規程によります。 (2)採用時からデニュアトラック期間(5年)満了時までに学内規定に基づくデニュア審査が行われ、可とされた場合にデニュアが付与されるデニュアトラック制度が適用されます。 (3)人事給与制度の内容については、本学ホームページで公表しています。 (https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/)
募 集 期 間	2023年3月31日まで(必着)
着 任 時 期	2023年10月1日
応 募 書 類	(1)履歴書(教員候補者個人調書) [様式]公募URLから取得すること (2)研究業績書 [様式]公募URLから取得すること (3)学位記(博士)のコピー、または学位取得見込みであることを証明する書類 [様式]自由 (4)過去5年間(2018年1月～)の業績(原著論文、著書)の別刷り (5)主要な論文(3編以内)の概要(各200字程度) [様式]自由 (6)教育に関する実績と抱負(1,000字程度) [様式]自由 (7)研究に関する実績(外部資金の獲得状況などを含む)と抱負(1,000字程度) [様式]自由 (8)社会貢献に関する実績(学会活動、地域・国際貢献活動など)と抱負(1,000字程度) [様式]自由 (9)組織内業務と管理・運営などの実績と抱負(1,000字程度) [様式]自由 (10)応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先 [様式]自由
その他	(1)応募書類の(1)～(10)をひとつのPDFファイルにまとめ、パスワードを設定の上、以下の問合せ先のメールアドレスに添付して応募してください(容量が大きくなる場合は適宜ファイルを分割すること)。著書をPDFファイルにまとめることが困難な場合には、当該著書の別途郵送を認めます。パスワードの連絡方法は応募者の判断に任せます。 * 上記の応募方法について困難な場合は、以下の問合せ先に相談してください。 (2)応募書類に含まれる個人情報は本選考と採用業務に限定して利用します。 (3)選考経過に関する問い合わせには応じることができません。 (4)本学は、男女共同参画を積極的に推進しています。 (5)書類が到着した際に、応募者に受取確認のメールをお送りします。応募書類の送付から3日を経過しても確認メールが届かない場合、以下の問合せ先まで連絡してください。
選考方法	(1)第1次選考: 応募書類により総合的に選考を行います。 (2)第2次選考: 第1次選考(書類選考)の合格者に対し、プレゼンテーション(模擬講義を含む)及び面接を実施して適任者の選考を行います。ただし、来学していただく場合の旅費は支給しません。
問 合 先	住 所 〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23 山形大学農学部
	宛 先 鶴岡キャンパス事務部総務課長 小野秀勝
	メ ー ル yu-nousenkou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
	電 話 0235-28-2803
	F A X 0235-28-2812

履歴書（教員候補者個人調書）

山形大学農学部

ふりがな	やまだ たろう			(顔写真) 自身の上半身画像データをこの枠内に取り込みPDFを作成してください。
氏名	山田 太郎			
(英語表記)	YAMADA, Taro			
性別	男・女			
生年月日(年齢)	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇歳)			
現住所				
連絡先メールアドレス				
連絡先電話番号				
教育研究分野	植物園芸学			
(英語表記)	Horticulture			
教育研究分野の内容	病害抵抗性育種に関する理論と応用			
(英語表記)	Theoretical and applied studies on plant breeding for disease resistance			
学歴				
平成△△年□□月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学			
平成△△年□□月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業・学士(農学)			
平成△△年□□月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程(博士前期課程)〇〇専攻入学			
平成△△年□□月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程(博士前期課程)修了・修士(農学)			
平成△△年□□月	〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程(博士後期課程)〇〇専攻入学			
平成△△年□□月	〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程(博士後期課程)修了 (又は単位修得退学)			
学位				
年月	学位の種類	取得大学名	学位論文の題名	
平成△△年□□月	博士(農学)	〇〇大学	に関する研究	
職歴 (研究歴を含む)				
平成△△年□□月	〇〇大学〇〇学部 研究生(平成△△年□□月まで)			
平成△△年□□月	株式会社〇〇産業〇〇研究所 入社			
平成△△年□□月	株式会社〇〇産業〇〇研究所 退社			
平成△△年□□月	学校法人〇〇大学〇〇学部助手 採用			
平成△△年□□月	学校法人〇〇大学〇〇学部助手 退職			
平成△△年□□月	〇〇大学 講師 〇〇学部			
平成△△年□□月	〇〇大学 准教授 〇〇学部			

学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等	
平成△△年□□月	〇〇学会会員
平成△△年□□月	◇◇学会会員
平成△△年□□月	〇〇学会評議員(平成〇年〇月まで)
平成△△年□□月	△△国際シンポジウム研究発表(ワシントン)
平成△△年□□月	□□県△△審議会委員(平成〇年〇月まで)
免 許 資 格 等	
平成△△年□□月〇〇日	高等学校教諭(1種免許状)理科
平成△△年□□月〇〇日	測量士補
平成△△年□□月〇〇日	食品衛生管理者
平成△△年□□月〇〇日	大型特殊自動車運転免許
平成△△年□□月〇〇日	第Ⅰ種放射線取扱主任者
賞 罰	
平成△△年□□月〇〇日	日本〇〇学会〇〇賞「〇〇に関する研究」
平成△△年□□月〇〇日	日本〇〇学会〇〇賞「〇〇に関する研究」
教 育 研 究 業 績	
	別紙記載のとおり

研究業績書

氏名 山 田 太 郎

研 究 の 業 績	
1	著書
	山田太郎 19〇〇(平成〇〇年) 1)の基礎理論 〇〇堂, 130 ページ 山田太郎 19〇〇(平成〇〇年) 2)について 高橋二郎編: ...に関する研究 〇〇書院, 第3章 111-132
2	学術論文
	a 博士論文
	1) 山田太郎. 19〇〇(昭和〇〇年)に関する研究 〇〇大学(農学博士)
	b 原著論文
	<u>山田太郎</u>. 19〇〇(昭和〇〇年) 1)に関する研究, 〇〇学会誌, 〇巻:123-130, 【査読有り】 山田二郎・庄内三郎・<u>山田太郎</u>. 19〇〇(平成〇〇年) 2)に関する研究, 〇〇大学農学部報告, 〇巻:123-130, 【査読なし】 YAMADA, J., YAMAGATA, U. and <u>YAMADA, T.</u> 19〇〇(平成〇〇年) 3) Studies on the Journal of JapaneseSciences, Vol.〇:123-130, 【査読有り】【Corresponding author】 YAMADA, J., <u>YAMADA, T.</u> and YAMAGATA, U. 20〇〇(平成〇〇年) 4) Effect of Journal of ExperimentalSciences, Vol.〇:222-234, 【査読有り】【Equal contribution】 5)
3	総説
	山田太郎 19〇〇(平成〇〇年) 1)の展望. 〇〇学会誌, 〇巻:123-130.
4	学会賞
	山田太郎 19〇〇(平成〇〇年) 1)に関する研究. 〇〇学会賞(平成〇〇年〇〇月〇〇日)
5	特許
	山田太郎 19〇〇(平成〇〇年) の作出法 1) 出願番号:〇〇〇〇(平成〇〇年〇〇月〇〇日) 登録番号:〇〇〇〇(平成〇〇年〇〇月〇〇日)
6	品種登録
	山田太郎 19〇〇(平成〇〇年) 1) 種類:稲, 登録品種の名称:〇〇〇〇 登録番号:〇〇〇〇(平成〇〇年〇〇月〇〇日)

7 その他の著作物			
山田太郎. 20〇〇(平成〇〇年) 1) ……に関する調査報告 〇〇大学附属〇〇報告, 〇巻: 123-130 山田太郎. 20〇〇(平成〇〇年) 2) ……に関する新発見 〇〇新聞(平成〇〇年〇〇月〇〇日)			
研 究 業 績 概 要			
1	著	書	編 (うち最近5年 編)
2	学	術 論 文	編 (うち最近5年 編)
3	総	説	編 (うち最近5年 編)
4	学	会 賞	件 (うち最近5年 件)
5	特	許	件 (うち最近5年 件)
6	品	種 登 録	件 (うち最近5年 件)
7	そ の 他 の 著 作 物		編 (うち最近5年 編)

記載上の留意点

- 古いものから順に列挙する。
- 通し番号、著者(共著者含め)、発表年、論文題目、掲載誌、巻(号)ページの順に記載し、本人の氏名に必ずアンダーラインを付すこと。また、原著論文は査読の有無を【】書きで示し、併せて連絡先著者【Corresponding author】、筆頭著者同等貢献者【Equal contribution】の場合には、その旨を【】書きで示すこと。
- 年号はすべて、「20□□(平成△△)年」と記載する。
- 著者名あるいは編者名は10名まで(それ以上は、et al.又は他を付ける)記載する。
 欧文の場合は以下の要領により記載する。
 YAMADA, J., YAMAGATA, U. and YAMADA, T.
- 著書分担執筆等の場合には、担当ページを含め以下の要領により記載する。
 博友社、99-121.
 また、発行機関誌名等は、略称名を用いないで記載し、巻(号)、頁も加え、以下の要領により記載する。
 Tetrahedron Letters, 42, 7439-7442.
- 学会発表の講演要旨、科学研究費補助金報告書は、学術論文やその他に記載しない。